

#### ■米国：フロリダ大手電力 FPL 社、大規模蓄電池施設の建設計画を発表

フロリダ・パワー&ライト (FPL) 社 (本社：フロリダ州ジュノービーチ、NextEra Energy の子会社) は 2019 年 3 月 28 日、太陽光発電の電力を蓄積する 40 万 9,000kW / 90 万 kWh の世界最大となる蓄電池施設を、同社が運転している太陽光発電所があるフロリダ州マナーティー郡に建設し、2021 年に運転開始する計画を発表した。同社によると、本計画は現在稼働中の世界最大の蓄電池システム (2017 年に米国テスラ社がオーストラリアの風力発電所に設置した 10 万 kW) の 4 倍の規模で、フル充電の場合、kWh ベースで一般家庭 32 万 9,000 軒に 2 時間の電力供給が可能とのことである。また本計画により、老朽化した天然ガス発電所 2 基の廃止を加速することにも繋がり、再生可能エネルギーへの転換で 100 万 t 以上の CO<sub>2</sub> 排出量の削減になるとしている。なお、建設に必要な資金額は公表されていない。